

天地悠久

令和6年8月3日(土)に西尾コンベンションホールで同窓会総会を開催しました。来賓の大村秀章知事、石井拓衆議院議員(当時)、山田たかお県議会議員、招待恩師の深谷正之・壁谷宜男・稲垣(岡山)烈記の3先生をお迎えし、幹事学年を中心に多くの同窓生が集まりました。総会后、「不適切にもほどがある!昭和と令和、はて?ドローン、コンプラ…」という演題でアイチ空撮サービス代表の朝岡修司氏に記念講演をしていただきました。講演の最後には、ドローンで撮影した西尾高校(何と校舎内までドローンで撮影)が大画面に映し出され迫力満点でした。



総会の様子



来賓あいさつ(大村秀章知事)



記念講演の様子(朝岡修司氏)

同窓会総会開催について (ご案内)

今年度の同窓会総会を次のとおり開催いたします。

幹事学年は、36回生(昭和59年3月卒)です。なお、幹事学年以外で参加希望の方は7月18日(金)までに担当へご連絡ください。

担当: 同窓会事務局 長 田川 誠

☎ 0563-57-2270

1 日 時 令和7年8月9日(土) 15:00~

2 会 場 西尾コンベンションホール 2階大ホール ☎0563-77-3887

3 幹事学年 高校36回生(昭和59年3月卒)

4 次 第 14:30 受付

15:00 総会

16:00 記念講演

講師: 元衆議院議員 石井拓氏(36回生)

演題: 「日本の未来は明るい?!

(経済産業大臣政務官の仕事を通じて)」

16:40 記念写真

17:00 懇親会(会費10,000円)

●ごあいさつ●

同窓会長 三浦 眞澄
(昭和46年卒)



皆さまご承知のとおり、この春、明和・津島・半田・刈谷の4校が県立中高一貫校として新たな歩みを始めました。わが西尾高校も令和8年4月の附属中学校開校に向けて、校舎の建設工事が進んでおり、正門前の風景も大きく様変わりしています。卒業生としては一抹の寂しさを感じる一方で、

中高一貫教育を通じて国際社会で活躍する人材の育成は、地域の教育発展にとって極めて意義深く、私たち同窓生もその歩みを力強く後押ししていきたいと考えています。

先日、ある方から「西尾高校は地域に深く愛され、大切にされている学校だ」との言葉をいただき、改めて母校の存在の大きさを実感しました。同窓会としては、在校生がより良い環境で学べるよう、学校設備や部活動、図書整備など、具体的な支援の充実に取り組んでまいります。また卒業生に対しても、地元での就業支援や進路に関するアドバイス、時には資金面での後押しなど、多面的に寄り添える体制を整えていきたいと考えています。そのためにも、皆さまからのご意見やご要望を積極的にお寄せいただければ幸いです。

また、創立100周年を機に設立された「西尾高校同窓会奨学財団」は、修学支援や海外留学助成など、未来を担う人材の育成に資する活動を行っております。税額控除の対象にもなっていますので、校歌に謳われる「新日本の黎明を担いて立てる若人」の育成に向け、一層のご支援をお願い申し上げます。

詩人であり、本校の先輩でもある茨木のり子氏は、戦争へと向かう時代を「暗雲が徐々に拡がり、気付いた時には息苦しいまでの気圧と暗さで覆いかぶさっていた」と振り返っています。自由が奪われるのは、突然とは限らず少しずつ進行していくこともあります。私たちは、自由な時代に生きることの重みとその尊さを自覚し、互いを尊重しながら日々の暮らしの中で自由を守り育てていく責任を、忘れてはなりません。「我ら西高生！」の誇りを胸に、ともに未来を切り拓く若い世代を支えてまいりましょう。



西尾高等学校附属中学校完成イメージ

●ごあいさつ●

校長 近藤 哲史



同窓会の皆様には、日頃より本校教育の充実・発展のために深いご理解と多大なご支援を賜っております。昨年度は、グラウンドの時計の整備や学校祭における冷房機器の貸与、図書室への書籍の寄贈、部活動への支援、また、奨学財団による修学奨学金の支給及び海外語学研修生への支援などにより、充実した教育活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。さらに、卒業生の皆様が各界で活躍されていることは、生徒の将来の目指すべき理想として大きな励みとなっているところです。

さて、本校は現在、各学年9学級、1080人の生徒が在籍しており、目指す学校像として、『進取・自主・克己』の校訓のもと、高い知性と教養、そして社会貢献への強い意志をもったリーダーの育成を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。授業では、探究的かつ対話的な学びを通して論理的に考える力や他者を理解・受容して自分の考えを発信する力を育むなど、主体的に学ぶことにより真の学力を身に付けることを目指しています。

最近の学校の様子をお伝えします。まずは昨年度の部活動の活躍について、ダンス部と美術部が全国大会に出場、また、水泳部や登山部、剣道部、卓球部が東海大会に出場しました。その他の部活動においても、多くの部が県大会に出場するなど、本当に生徒はよく頑張っています。

続いて進路概況についてです。この春の卒業生は346名でした。うち177名(51.2%)の生徒が国公立大学へ進学、130名(37.6%)の生徒が私立大学へ進学しました。国公立大学については、合格数が5年連続で200名を超えるというすばらしい実績を残しています。

続いて進路概況についてです。この春の卒業生は346名でした。うち177名(51.2%)の生徒が国公立大学へ進学、130名(37.6%)の生徒が私立大学へ進学しました。国公立大学については、合格数が5年連続で200名を超えるというすばらしい実績を残しています。

現在、世界はVUCA(Volatility不安定・Uncertainty不確実・Complexity複雑・Ambiguity曖昧)の時代を迎えています。このような社会を生き抜くために、学校教育で育成する人材は、単なる知識の集積者ではなく、自ら思考し、判断し、決断し行動できる人、多様性を尊重し、対話を通して問題を解決できる人であることが求められます。本校は、令和8年度に附属中学校を設置して中高一貫教育を導入します。様々な課題に挑戦し続ける意欲をもち、他者と協働しながら、多様性に富む国際社会の発展やよりよい地域の創生に寄与する、グローバルな人材の育成を進めてまいります。

今後とも、長い歴史と伝統あるすばらしい西尾高等学校を今後も長く継続させていくため、私たち教職員も一丸となって頑張っておりますので、同窓会の皆様方におかれましては、母校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。西高同窓会のますますのご発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。

会員からのたより

西尾市須田町 野崎(加藤) 祐子 (S38年卒)

一人居8年、今年八十路に入りました。ゆっくりと流れる時間を楽しみつつ日々を過ごしています。NHK学園で短歌を学びつ頭の体操をしています。日本語の豊かさ、むずかしさを思い知らされながら悪戦苦闘しています。まわりのすべてに感謝、感謝の毎日です。

安城市 林 誠 (S50年卒)

光陰矢の如し。地元で就職し、気が付けば前期高齢者の仲間入り。寄稿をきっかけに、何十年ぶりに卒業アルバムを見ました。級友、クラブ活動、西高祭、山陰への修学旅行など懐かしく思い出されました。今は民生委員、家庭菜園、孫の世話と充実した生活を送っています。

西尾市西幡豆町 松山喜代志 (S52年卒)

トヨタ及びその関連会社の国内外工場の建設や環境業務を担当してきました。西尾市に戻ってから、大学まで続けたソフトテニスを地元の小中学生と一緒に楽しんでいます。教室の卒業生が活躍する姿を見るのが楽しみです、元気を貰っています。皆さんも一緒にやりませんか？

東京都足立区 水越一吉 (S55年卒)

金融機関に就職し、シンガポールなど4か国で21年間にわたる海外駐在を経験しました。高校卒業時には想像さえしなかった人生ですが、海外の様々な文化に触れるとともに、外から日本を見ることでその良さや欠点もよく見えました。還暦は既に超えましたが、今も現役で頑張っています。

刈谷市 森井(篠原) 敦子 (S56年卒)

私は、長年勤めた会社を退職して、時間に拘束された毎日から自由な生き方を自分で選択できる年代になりました。私は今も大好きなバンド活動を続け、音楽を通して皆に喜んでもらえたら良いなあ！と思っています。また、地域のイベントに参加したり、三河の食材を使ってお料理したり、元気に楽しい毎日を過ごしています。

西尾市斉藤町 鈴木宏明 (S60年卒)

西高卒業後、大学進学を経て家業の造園業を継ぐため修行し、その後34年間携わっています。31歳で樹木医の資格を取得し、経験と学びを重ねる中で仕事の幅が広

がりました。自然と向き合う喜びを感じながら、緑豊かな環境づくりに励んでいます。

東京都品川区 村松謙一 (S63年卒)

在学時、吹奏楽部に所属していた私は、クラシック音楽とトランペット演奏に夢中だった。そのため、追試常連になるほどの大劣等生だったが、今でもその趣味は続いており、アマチュアオーケストラで仲間と演奏を楽しんだりして、充実した日々を送ることができている。

西尾市住崎 岡島(信田) 昌美 (H9年卒)

月に2回、初級レベルのウクレレを習っています。上達を感じられないまま数か月が過ぎた頃に、以前はできなかったことが、できるようになっていたことに気付きました。今は憧れの曲を、ゆっくりでもちゃんと弾き通せるようになりたいと思って楽しく練習しています。

名古屋市熱田区 駒宮茂 (H25年卒)

県内の大学を卒業後、西尾市役所に就職。仕事でも西高の先輩後輩と出会うことが多く、たびたび母校の思い出話に花が咲きます。現在は商工振興課で、空き家・空き店舗の活用など中心市街地活性化に取り組んでいます。まちなかに空き家等をお持ちの方はぜひご相談ください。

大分県佐伯市 山田竜也 (H28年卒)

高校時代から目指していた、水産に関わる仕事に就くことができ、養殖業者に飼料や医薬品を販売する会社に勤めています。養殖業界は今、資材費高騰の影響を受け、厳しい状況が続いています。この業界のためにできることを、未熟ながら模索していこうと思います。

海部郡蟹江町 石川美来 (H28年卒)

現在イベント業界で働き、芸能系の仕事にも携わっています。昔から祭りなど非日常の楽しい空間が好きだったので、好きなことを仕事にできて毎日が充実しています。大変なことも多いですが、たくさんの人を幸せにできるようなイベントをこれからもつくっていきます。

西尾市中畑町 西村優里 (R4年卒)

高校3年生から始めた多文化ルームKIBOUでの活動を今も続けています。ボランティアを始めたのは、西高のオーストラリア研修がきっかけで、日本にいる外国ルーツの子どもに興味をもちました。読書クラスの支援員として子どもの成長を日々感じる事ができ、充実した気持ちで活動しています。

〔活躍同窓生〕

プロなわとびプレイヤー

くろ の ひろ ま
黒野寛馬さん

平成21年卒 (61回生)



筑波大学入学時に初めてなわとび競技に出会い、アクロパティックなパフォーマンスに魅了される。2014年の世界大会で日本人初の個人総合優勝。その後、多くの世界大会で優勝を勝ち取る。また、リオと東京オリンピックではバスケットやハンドボールの

ハーフタイムショーでパフォーマンスを披露。

2022年2月22日に(株)JUMPLIFEを設立。代表取締役。
 本社：大阪府豊中市。

＜主な競技歴＞

2014年 World Jump Rope(世界選手権 in USA)個人総合優勝
 2014～2017年 全日本ロープスキッピング選手権大会 個人総合4連覇
 2021年 IJRU Virtual World Championships(世界選手権)団体総合優勝
 2024年 Asian Jump Rope Championships 団体総合優勝

＜主な出演歴＞

2016年 リオデジャネイロオリンピックパフォーマー
 2020年 嵐にしががれに出演：相葉雅紀となわとび
 2021年 東京オリンピックパフォーマー
 2021年 1億3000万人のSHOWチャンネルに出演
 ：北川景子となわとび

★高校時代の思い出は何か？

西高時代はすごくやんちゃな生活を送っていました。理系の特進クラスに入りながらも宿題を忘れては呼び出され、先生方にはたくさんご迷惑をおかけしました。特に思い出に残っているのは高校から始めた器械体操部での活動や3年生の時の西高祭です。団長もやらせていた



2014年 世界選手権 優勝

だき、何事にもがむしゃらに取り組みました。喜怒哀楽が激しい時期でしたが、今となっては全部楽しい思い出です。

★お仕事の内容をお聞かせください。

大学から始めた「JUMPROPE」というなわとび・ダブルダッチの競技にどっぷりはまってしまい、2022年になわとびの会社(株)JUMPLIFEを立ち上げました。なわとびの普及やレッスン、なわとびを使ったイベント事業、私が監修した跳び縄「HEROPE」の販売などを行っています。冬場は小学校でなわとびの外部講師として授業をしたり、休日はショッピングモールでのパフォーマンスや体験会をしたりして、毎日ジャンプし続けています。



黒野さんの
なわとび動画

★今までのお仕事の中で印象に残る出来事は何ですか？

なわとびレッスンは子供が行うイメージがあると思いますが、これまでのレッスン生の最高年齢は83歳です。最初は座った状態でタオルを回す動きからやっていましたが、今はなんと二重跳びができるようになりました。レッスンの後「孫に教えてくる！」と話してくれたことがすごく印象に残っています。縄1本で家族のコミュニケーションツールになるというなわとびの可能性を感じた瞬間でした。



豊中市服部天神宮でのパフォーマンス

★今後の抱負をお聞かせください。

会社のミッションとして「休日の公園で子供から高齢者まですべての人がなわとびを楽しんでいる社会を作る」ことを掲げています。学校体育で行うだけでなく、大人が健康目的に行うエクササイズだったり、高齢者の認知症予防にも縄1本で寄与し、家族や地域の方々と一緒にみんなでなわとびを楽しんでいただければと思っています。なわとび、楽しいですよ！しんどいですけど。

★西高生へメッセージをお願いします。

「想い」をもってチャレンジして欲しいです。「想い」が大きいほど成功に近づくことができます。一度きりの高校生活、後悔なく楽しんでください！

*写真と動画は黒野さんの掲載許可を得ています。

【あの先生は、今】

鶴田賀宣先生



昭和55年卒(32回生)

平成元年度から平成17年度までの17年間と令和2・3年度の定年退職までの2年間、西高に勤務。退職後も引き続き西高で再任用教諭として勤められ、今年で4年目。保健体育科教諭、野球部顧問

★西高生時代の思い出は？

野球部でキャプテンをやりました。3年間で西三大会ベスト8が3回。そのうち1回は県大会3位でしたので、当時は、中京高（現中京大中京高）を倒せばと、本気で甲子園を目指してましたね。

★西高に勤務されていた時の思い出は？

定年を西高で迎えました。無理を言って最後の年も担任をさせてもらいましたが、17回の担任は本当に楽しかったです。「ジャイ子先生」と呼ばれていた家庭科の岡田光代先生が転勤されたので、壁谷宜男生徒指導部長から女子教育係を仰せつかりました。西高は女学校の伝統があったため、女子教育が地域から関心がもたれていました。体育準備室から毎朝登校する女子生徒のスカートの長さを注視していましたし（笑）、ルーズソックスを取り締まっていました。

また、野球部の顧問として自分なりに頑張っていました。県大会ベスト8が4回と、けっこう結果も出して楽しかったですね。野球部のOB会では、当時の生徒たちに「君たちのおかげで理事長になれたんだ」と言ったりして…（笑）。

★愛知県高等学校野球連盟（以下「高野連」）の理事長にいつ就任されましたか？

令和4年度からですので今年が4年目です。副理事長を8年やっていて、前理事長の推薦で理事長になりました。任期は2年ですので、現在2期目です。

★理事長としてどんな仕事をしていらっしゃいますか？

春や秋の大会の開催日は必ず岡崎中央総合公園の野球場「岡崎レッドダイヤモンドスタジアム」に行っていますし、夏の大会では1日3球場を回って1日中試合を見えています。

★大会のない時は？

西高で授業のない日は、高野連事務局に勤務しています。仕事内容は、野球の大会の準備や審判員、指導者に対する講習会、キッズイベントの準備、全国大会の視察など、年間20以上の大会やイベントの準備に携わっています。特に夏の甲子園予選は大きな大会ですので、多くの報道機関や医療関係の方々が行っています。そのような関係各所へ挨拶廻りに出向いています。また、夏の大会前には、試合の「組み合わせ表」を作ります。組み合わせの条件が11項目もあってとても複雑なんですよ。

他には、各学校の活動中でのトラブルに対する指導も行っ

ています。最近ではSNS関連のトラブルもしばしばあります。日本高野連と協議しながら問題解決しています。

★令和6年の夏の「猛暑」は大変でしたね。TVで会見されているのをお見掛けしました。

一昨年までは、夏の大会中に「（こんな猛暑のなかで試合をさせて）生徒を殺すつもりか！」というクレームがありました。そのため、昨年は前もって猛暑対策に関する記者会見をしました。決勝戦を午後2時から開始するということについては、中京大学の松本孝朗教授に県内の野球場3カ所の暑さ指数（WBGT）を実地測定していただいた結果を受けて、決定しました。WBGT数値は温度だけでなく湿度が大きく関係しているために、意外にも午前中や正午前後が熱中症のリスクが高い傾向にあり、午後2時以降なら熱中症の危険性が下がること分かりました。その根拠を示して、午後2時から開始するんだということを事前にマスコミを通じて流すと、昨年はクレームがほとんど来ませんでした。

また、今年の夏の大会からは、決勝戦だけでなく、夏休みに入った5回戦くらいからは、第1試合を午後2時から開始して、ナイトゲームも考えています。

★野球をする生徒が減少していることについてどうお考えですか？

私が提案して、春の県大会が終了したタイミングで、小学生以下を対象に「きっずボールパーク」を高野連主催で実施しています。決勝に出場した高校生にキャッチボールなどを手伝ってもらっています。特に夏の愛知大会決勝戦前に行うストラックアウトでいい成績だった児童には、決勝戦の始球式をやってもらいます。

また、社会人野球や少年野球の方々も含めたNPO法人の愛知県野球協議会を昨年に立ち上げました。高野連を中心に、小学生から中学生、高校生、社会人までを含めた活動を始めようとしています。

必要とは思われない垣根を取り除くことで、子供たちももっと野球に親しみ、楽しさを感じ、夢がもてるようになれば、野球人口は増加していくはずですね。理事長として、野球の裾野を広げるよう、今後も精一杯頑張りたいと思っています。

★大谷翔平の活躍は高校野球にどんな影響がありますか？

大谷翔平のメジャーでの大活躍は、ものすごい影響がありますね。中日ドラゴンズに愛知県出身の石川昂弥や高橋宏斗がいますが、彼らが高校生の時に、私はオーストラリア遠征では愛知県選抜チームの監督として、台湾遠征ではコーチとして接しました。彼らも近い将来メジャーへ行くでしょう。そのような道筋を大谷翔平がつけたんだと思います。そうならば必然的に愛知県の高校野球のレベルアップにつながるはずですね。子供たちに夢を与え、野球人気もどんどん上がっていくでしょうね。

※インタビューを終えて

鶴田先生が高校野球を取り巻く様々な問題を話されていても、高野連のトップとして少しもたじろがずに真正面から取り組んで解決しようとする姿勢を強く感じました。西高で生徒として顧問として23年間も野球に打ち込むことができた「恩返しかな」という先生の言葉が印象に残りました。

（インタビューと文責は都築暢也）

★★★★★★★★ 令和6・7年度大学別合格者数 ★★★★★★★★★

国公立大学			
大学名	7年度		6年度
	新卒	旧卒	
小樽商科	1		
北海道	1		2
東北	3		
秋田	1		
福島	1		
茨城			1
筑波	1		1
千葉	4	1	3
横浜国立	2	1	1
富山	2		4
金沢	7		7
福井	3	1	1
山梨			4
信州	3		4
静岡	20		27
愛知教育	18	1	34
豊橋技術科学			1
名古屋	23		29
名古屋工業	8	1	9
岐阜	11		23
三重	7		8
滋賀	2		3
京都	1	2	4
大阪	1		1
大阪教育			2
神戸	1		2
奈良教育	1		
奈良女子	1		1
島根	1		
岡山	1		1
広島	5		9
山口			2

徳島			1
香川	1		
愛媛	1		
高知	1		
福岡教育	1		
宮崎	1		
鹿児島	2		
鹿児島体育			1
琉球		1	
国立大学合計	137	8	186
秋田県立		1	
高崎経済	1		3
群馬県立女子	1		
東京都立	2		2
横浜市立	2		
富山県立	1	1	1
石川県立			3
金沢美術工芸		1	
福井県立			2
長野	1		
岐阜薬科			1
静岡県立	1		1
静岡文化芸術	1		
愛知県立	18		7
愛知県立芸術		1	
名古屋市立	17		16
滋賀県立	1		
京都府立			1
大阪公立	3		1
神戸市外国語	1		
兵庫県立			1
県立広島			1
広島市立			1
香川県立保健医療		1	
公立大学合計	50	5	41
国公立大学合計	187	13	227

私立大学			
大学名	7年度		6年度
	新卒	旧卒	
青山学院	1		3
慶應義塾		2	1
中央	4		3
東京理科	7		6
法政	6		4
明治	8		5
早稲田	1		1
立教			1
愛知	120	1	146
愛知学院	46	1	34
愛知工業	36	5	63
愛知淑徳	57		58
金城学院	16		33
椙山女学園	32		37
中京	85	2	132
中部	36	3	53
豊田工業	7		1
藤田医科	22		36
南山	156	4	117
名城	241	8	301
同志社	8	4	34
立命館	49	2	73
関西	9		9
関西学院	3		7
その他の私立大学	141	19	242
私立大学合計	1091	51	1400

同窓生によるキャリア教育

1年生の「総合的な探究の時間」において、令和6年5月27日（月）に同窓生による講演会「10年後のキャリアを考える」を実施しました。昨年度に引き続き、平成25年卒業の山本大智氏（リクルーティングアドバイザー）と矢藤慶悟氏（投資会社勤務）をお招きしました。2人が順にご自身の高校時代や卒業後の進路と現在までの仕事を具体的に説明した後、生徒がスマホを通じて出した質問にリアルタイムに答えながら、対談されました。生徒の質問は、学習法や部活動に関する高校生活や将来の職業選択や進路選択に関わる内容など多岐にわたりましたが、丁寧に回答していただきました。

（文責：第1学年総探担当 磯野麻莉奈）



参加した生徒の感想

- お二人ともとても丁寧でわかりやすい説明で、西高の先輩方ということもあり身近に進路を考えることができ、とても有意義な時間になりました。
- 実体験から得られた情報はとても貴重でした。進路についてより深く考えるきっかけになった時間でした。これから自分の進みたい進路を見つけ、早く目標を立てたいです。
- 講演会の雰囲気もとても楽しく、何より自分にとって将来(未来)に対する考え方が変わり、心が大きく動かされたものとなりました。この先に待つ文理選択などの大きな選択なども根気強く乗り越えて行けそうです。
- 西高の卒業生ということで、親近感がわきました。まだ、学校生活に不安があるけれど自分の進路の選択肢が増えるように情報収集や勉強に励みたいと思いました。
- 大学受験は今の私たちにとって最も大切なことですが、「10年後のキャリアを考える」ことで、今やるべきことや重要な選択をすべきことを今回の講演会から学ぶことができました。

令和5年度
西尾高等学校同窓会会計報告自 令和5年8月 1日
至 令和6年7月31日

1 経常費

科目	金額	備考
前年度繰越金	5,858,133	
同窓会総会費	1,049,000	
今年度卒業生入会金	1,765,000	5,000円×353名
同窓会名簿還元金	20,620	
雑収入	50	利息
計	8,692,803	

科目	金額	備考
会議費	1,190,890	同窓会総会諸費
学校行事支援費	120,561	体感ウォークポスター、証書丸筒等
同窓会関連事業費	357,580	同窓会賞、同窓会報活動費等
部活動支援費	2,345,970	横断幕、部応援ポスター、LED投光器設置工事
広報費	49,074	西尾高校だより等
報償費	190,000	陸上部、登山部、水泳部、ダンス部、美術部
旅費	62,600	講師3名旅費・謝礼
事務費	181,818	封筒等、往復はがき、タックラベル等
慶弔費	0	
計	4,498,493	

(差引残額) 4,194,310 円

2 維持会費

科目	金額	備考
前年度繰越金	9,479,721	
雑収入	56	利息
計	9,479,777	

科目	金額	備考
同窓会報印刷費	161,150	
計	161,150	

(差引残額) 9,318,627 円

3 周年事業会計

科目	金額	備考
前年度繰越金	6,686,058	
計	6,686,058	

科目	金額	備考
(なし)		
計	0	

(差引残額) 6,686,058 円

令和6年度公益財団法人
西尾高等学校同窓会奨学財団収支決算書自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

科目	金額	備考
繰入金	0	同窓会会計より繰入は無し
寄附金	2,768,000	個人54名、法人4社
受取利息	15,923	
計	2,783,923	

科目	金額	備考
修学奨学金	720,000	3名
海外派遣助成金	1,400,000	
給与手当	65,300	
証明書発行費	177,187	
支払手数料	6,320	
管理費	18,000	
計	2,386,807	

(収支差額) 397,116 円

- ①奨学財団の事業と維持に対するご支援に感謝いたします。
②奨学財団維持のため、引き続きご支援をお願いいたします。
③奨学財団への寄附金は寄附金控除の対象になります。
④寄附金について税額控除が受けられるように手続きを進めますが、手続きに必要な有効寄附は、毎年度3,000円以上の寄附者が100名以上です。
⑤奨学財団への寄附金は、勝手ながら、3,000円以上でお願いいたします。
⑥納入方法に関しては同窓会HPをご覧ください。

部活動報告

〔令和6年度 東海大会以上出場〕

【美術部】全国高等学校総合文化祭（美術・工芸部門）

【ダンス部】全国高等学校ダンスドリル冬季大会

東海ダンスドリル秋季競技大会

日本高等学校ダンス部選手権

東海・北陸地区大会

全日本チームダンス選手権大会

【水泳部】東海高等学校総合体育大会

（女子100mバタフライ、男子100mバタフ

ライ、男子200mバタフライ）

【登山部】東海高等学校総合体育大会

（男子団体、女子団体）

【剣道部】東海高等学校総合体育大会（男子団体）

【卓球部】中部日本卓球選手権大会

（ジュニア男子シングルス）

東海卓球選手権大会

（ジュニア男子シングルス）

【華道部】Ikenobo 花の甲子園2024 東海大会

※西高の規定で個人名の掲載はありません

ダンス部全国大会の報告

令和6年11月に行われた東海地区予選において部門優勝して、令和7年1月に東京都調布市の武蔵野の森スポーツプラザで行われた第16回全国高等学校ダンスドリル冬季大会に出場しました。前回の悔しさを胸に挑戦しましたが、残念ながら入賞とはなりませんでしたが、今回のテーマ「セレブリティ」を全国大会の舞台でミスなく披露でき、とてもよかったと思います。同窓会のご支援に心から感謝申し上げます。なお、次回のダンス部公演は令和8年3月26日(木)午後から「にししん文化会館茶々とホール」で行う予定です。皆様のご来場をお待ちしております。



オーストラリア語学研修報告

私が今回のオーストラリア研修に行こうと思ったきっかけは、前年の秋にあった国際交流プログラム報告会で、自分の同学年や先輩方が海外研修の発表をするのを聞いて興味をもったからです。令和6年8月16日から10日間の語学研修では、異なる文化の国で生活する難しさを体験しましたが、現地の人たちといろんなプログラムを通じて交流することができました。同窓会のご支援のおかげで私たちがこのような体験ができたことに深く感謝しています。後輩にもこのような経験をして欲しいと思うので、これからもご支援よろしくお願いします。



「西蒲線体感ウォーク」のご案内

第17回名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを次のように実施します。ご支援よろしくお願いします。

- 1 日時 令和7年11月13日(木) 8:30~16:30
- 2 場所 名鉄東幡豆駅から西尾市役所芝生広場
- 3 参加者 1・2年生約720名、職員約40名、保護者を中心とした支援ボランティア約70名



吹奏楽部演奏会

「ハルコン」のご案内

今年は3月26日に「にしん文化会館茶々とホール」にて無事開催することができました。次回は、令和8年3月25日(水)に同会場にて開催を予定しています。同窓生の皆様のご来場を心からお待ちしております。



弔事 山下英一先生 令和7年4月5日にご逝去。享年99歳。旧制西尾中学を昭和18年3月に卒業(13回生)。西高に昭和25年3月~28年5月、昭和29年4月~50年3月までの24年間、英語科教員・校長補佐(教頭)として勤務。厳しい指導だけでなく軽妙洒脱なお人柄で、文字通り「西高の名物先生」でした。同窓会においても、多くの講演や寄稿などでご支援をいただきました。ご冥福をお祈りいたします。

同窓会報の配布 令和2年度から同窓会報はホームページのみの公開となっています。同級会やOB・OG会等で同窓生がお集まりの際に限り、印刷した同窓会報をお配りいたします。希望される場合は会の名と必要部数を同窓会報事務局(0563-57-2270)までお知らせください。なお、印刷部数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

同窓会専用ホームページ 同窓会からのお知らせや会員間の情報交換の充実を目的に、平成28年度から同窓会専用のホームページを開設しています。学年や部活動同窓会の情報提供、住所変更等の事務局への連絡にも活用できます。是非、ご覧ください。



編集後記

よく知られているように、QRコードとは、平成6(1994)年にデンソーの開発部門によって発明されたマトリックス型2次元コードです。今では各所で活用されていますが、ようやく本号の同窓会報で採用することになりました。黒野寛馬さんの世界一のなわとび(P4)が動画で見られます。また、同窓会HP(P8)も簡単に見ることができます。是非お目通しください。【同窓会報編集委員一同】

西高同窓会報「天地悠久」第36号

発行日 令和7年7月1日
 発行 西尾高校同窓会報編集委員会
 〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2
 TEL(0563)57-2270
 発行人 同窓会長 三浦眞澄
 印刷所 (資)三州印刷